

国立国語研究所学術情報リポジトリ

はじめに

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-11-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 木部, 暢子 メールアドレス: 所属: |
| URL | https://doi.org/10.15084/00002458 |

はじめに

「消滅危機方言の調査・保存のための総合的研究」は、国立国語研究所の基幹型共同研究プロジェクトとして2009年10月にスタートしました。2010年度からは毎年1回、共同研究者や若手研究者が1カ所に集まって共同で調査を行う合同調査を実施しています。これまで、2回の合同調査を行いました。それは、次のとおりです。

第1回合同調査 鹿児島県喜界島方言調査（2010年9月）

第2回合同調査 沖縄県宮古方言調査（2011年9月）

本書は、このうち、第2回合同調査 宮古方言調査の調査報告書です。

調査の折りには、たくさんの方にお世話になりました。まず、暑いなか、また、お忙しいなか、公民館まで足を運んでくださり、親切に宮古のことばを教えてくださいました方々に深く御礼申し上げます。みなさんのおかげで、このような報告書を作成することができました。また、川上哲也宮古島市教育長をはじめとして、教育委員会生涯学習部生涯学習振興課のみなさんには、調査の準備から、調査の実施、文化講演会に至るまで、大変お世話になりました。特に、生涯学習振興課文化財係主任主事の新城宗史さんには、地元の方々のご紹介や日程調整などで、お世話をおかけしました。深く感謝申し上げます。

この報告書の内容は、宮古のことば全体から見ると、ごく一部のわずかなものにすぎませんが、宮古のことばの研究や記録・保存の資料として、少しでも多くの方々に使っていただくと幸いに存じます。また、国立国語研究所ホームページの「消滅危機方言の調査・保存のための総合的研究」のページで、本書のPDF版を公開しています。こちらもぜひ、ご覧ください。

2012年8月1日

国立国語研究所 木部 暢子